

まちかどフォトニュース

おもしろいこと、珍しいもの、どんなことでもいいので耳よりな情報をお知らせください。

三好市 秘書広報課 ☎ 72-7646



妖怪屋敷がお化け屋敷に

道の駅大歩危で、7月27日、妖怪夏まつりが開催され、観光客や家族連れらで賑わいました。

夏まつりでは、普段とは違う妖怪屋敷を楽しんでもらおうと、夜の妖怪屋敷がお化け屋敷となり、肝試しが行われました。お化け屋敷の中では、手の込んだ仕掛けや暗闇の中での妖怪たちの登場に館内中に参加者の悲鳴が響き渡っていました。

また、妖怪〇×クイズ大会や液晶テレビなどが当たる抽選会も行われ、参加者は、暑い夏の夜を妖怪達と満喫しました。

新しい広場の完成を祝う

7月16日、阿波池田駅前通りに新しく完成した広場「ふらっとスクエア」で、地元の阿波池田駅前商店街などが主催する完成記念イベントが開催されました。池田高校ブラスバンド演奏やたばこ踊り、記念もち投げ、フラダンスやハワイアンバンドの演奏など、多彩な催しやバザーの出店が行われ、大勢の人でにぎわいました。

この日は丸山神社祇園祭花火大会もあり、訪れた方は「ふらっとスクエア」でゆったりとくつろぎながら、花火も楽しみました。



優雅に神代踊り奉納

西祖谷山村善徳の天満神社において、8月1日(旧暦6月25日)、国指定重要無形民俗文化財の神代踊りが、西祖谷神代踊り保存会と櫛生小学校の児童らによって披露されました。神代踊りは、菅原道真が讃岐守在任中に、大干ばつによって困窮していた農民のために、雨乞いの祈願として行ったものが起源であると伝えられています。太鼓や鉦の音が鳴り響き、杉木立の中で繰り広げられる幻想的な踊りに、大勢のアマチュアカメラマンたちが盛んにシャッターを切っていました。

今年最初の花火大会

夜空を彩る夏の風物詩「花火」。三好市内でも各地で花火大会が行われますが、そのトップをきって、丸山神社祇園祭花火大会が7月16日に行われました。

空が暗くなるにつれ、露店が並ぶ丸山神社の周辺には、家族連れや浴衣姿の人などたくさん見物客が押し寄せ、20時に最初の花火が打ち上げられると大きな歓声が沸きあがりました。約1時間、1200発の花火が打ち上げられ、観客は暑さも忘れ、心地よい気分で夜空に咲く光の大輪を楽しみました。



活断層フォーラムを開催



池田総合体育館において、7月28日に活断層フォーラム(西部総合県民局主催)が開催されました。県の「徳島県南海トラフ巨大地震等に係る震災に強い社会づくり条例」に基づく「特定活断層調査区域」の8月30日の公示に向け、中央構造線活断層帯直下型地震について正しい知識を身につけてもらい、今後の備えについて考えてもらおうと開かれ、京都大学名誉教授の岡田篤正さんによる講演や、特定活断層調査区域についての説明が行われました。

安心・安全な地域に向けて



東祖谷地区住民協議会連合会主催による第2回東祖谷福祉まつりが、7月7日、東祖谷小・中学校で開催され、東祖谷小学校の生徒をはじめ地域から多くの方が参加しました。

地元の13地区福祉協議会の取り組みなどをパネルで紹介したほか、防災講話や救急時の対応講習、起震車による地震体験や自衛隊装備品の展示、炊き出し体験などが行われました。参加者はさまざまな体験を通じて、安心・安全な地域づくりに向けて意識を高めることができました。

地域の宝をテーマに全国サミット



全国の総合型スポーツクラブ関係者が地域活性化術について考える「全国地域づくりサミット」が、7月6日、池田総合体育館で開催され、県内外から約100人が参加しました。サミットでは、北川正恭早稲田大学院教授らによる講演のほか、「高校生たちが担う地域づくり」として、三好高校や美馬商業高校が取組んでいる地域活動について生徒から発表がありました。また、「地域のお宝どう生かす」と題したパネルディスカッションもあり、地域の宝について話し合いました。



わくわくフェスタでわくわく体験

今年で3回目を迎えた、「JCわくわくフェスタ」が、7月28日、池田湖水際公園で開催されました。

県内外のご当地B級グルメ16店舗を集めたコーナーや、ダム湖の景観を楽しむ遊覧船やバナナボート体験など、さまざまなアトラクションがあり、猛暑にもかかわらず、多くの家族連れでにぎわいました。また、市の歴史や文化などをテーマにしたクイズ大会やお楽しみ抽選会も行われ、わくわくドキドキの1日になりました。